

(3) 特 設 展

① 特設展「芥川龍之介 生誕130年 旅の記憶」

期 間 令和4年4月23日(土)～6月19日(日) 51日間

趣 旨 「羅生門」や「河童」など近代文学の名作で知られる芥川龍之介(1892～1927)は、旅が好きで、北は北海道から南は九州まで足を運んでいる。また、当時としては珍しく海外にも旅行し、中国各地を訪れた。山梨・長野への徒歩旅行、失恋の傷をいやした松江での日々、東北から北海道へかけての講演旅行など目的は様々だが、各地での見聞は芥川的生活や作品に様々な影響を与えた。本展では、当館の芥川コレクションを中心に、芥川の旅の軌跡をたどる。

展 示 資 料 一 覧

勝浦・銚子・佐原 千葉県

葛巻久子 芥川龍之介宛書簡 1910(明治43)年5月28日消印

回覧雑誌「木兎」第2号 1906(明治39)年8月

「暮雲昏水」草稿

「水郷記」ノート

「朝 八時二十分の列車にて」原稿

「朝 八時頃砂岡が誘ひにくる」草稿

一宮 千葉県

松岡譲 芥川龍之介・久米正雄宛葉書 1916(大正5)年8月22日

夏目漱石 久米正雄・芥川龍之介宛書簡 1916(大正5)年8月21日

日光・足尾・塩原 栃木県

「日光小品」草稿

「学友会雑誌」第15号 1910(明治43)年2月

「学友会雑誌」第15号原稿

手帳

学生時代のノート

赤城山・伊香保 群馬県

「菩提樹—三年の回顧」原稿

芥川が描いた戯画

「伊香保にては」草稿

青根温泉 宮城県

「御宿料記」1920(大正9)年8月

16歳—夏の旅 東京・山梨・長野・群馬

「日誌」1908(明治41)年7月21日～8月31日

甲府 山梨県

芥川龍之介 山本喜誉司宛書簡 1910(明治43)年10月14日(複製) 原本 個人蔵

長坂 山梨県

山梨夏期大学講演メモ

「朝陽日報」

「水虎晩帰之図」額装

「藤の花軒端の苔の老いにけり」軸装

下吉田 山梨県

芥川龍之介 山本喜誉司宛葉書 1912（明治45）年4月1日〈複製〉原本 個人蔵

横浜・湯河原・清水 神奈川・静岡

「夜行之記」草稿 1906（明治39）年 夏

「車窓所見」原稿

「遊行寺はなつかしき寺なり」ノート

「絹帽子」草稿

芥川龍之介 正宗白鳥宛書簡 1924（大正13）年11月5日

槍ヶ岳 長野県・岐阜県

「槍ヶ岳紀行」ノート

「槍ヶ岳に登った記」草稿

軽井沢 長野県

「短繁集」

「軽井沢日記」草稿

「風にまひたる菅笠の」一枚物

「高原の町」草稿

京都 京都府

「青蓮院の庭」草稿

龍村平蔵 芥川龍之介宛書簡 年不明 6月11日

奈良 奈良県

「寧楽の夕」下書き 2種

「奈良」ノート

大阪 大阪府

芥川龍之介 薄田泣菫宛書簡 1918（大正7）年2月13日

松江 島根県

恒藤恭『旧友芥川龍之介』1949（昭和24）年8月 朝日新聞社

芥川龍之介 吉田弥生宛書簡下書き 1914（大正3）年（推定）7月28日

「行人抄」草稿

「東洋」草稿

松江を訪れて詠んだ俳句の草稿 2種

由宇 山口県

「軍艦金剛航海記」メモ

長崎 長崎県

芥川龍之介 斎藤阿具宛書簡 1914（大正3）年10月9日

「貝多羅葉」（雑記ノート）

「初夏の長崎に」草稿

「サンデー毎日」第1年第10号 1922（大正11）年6月4日

全集宣伝の講演旅行 宮城・岩手・北海道・青森

「東北・北海道・新潟」草稿

『現代日本文学全集』第15巻「国木田独歩集」1927（昭和2）年4月 改造社 並製

『現代日本文学全集』第30巻「芥川龍之介集」1928（昭和3）年1月 改造社 並製

『現代日本文学全集』第30巻「芥川龍之介集」1928（昭和3）年1月 改造社 特製
小宮豊隆「一挿話」原稿

中国旅行

胡適『嘗試集』1920年9月再版 上海 亜東図書
芥川龍之介 斎藤貞吉宛書簡 1921（大正10）年7月21日
中国の絵はがき
『支那游記』1925（大正14）年11月 改造社
「湖南の扇」草稿
「上海のホテル」草稿



旅 人よいづくにゆくや
はてしなく道はつづけり大空の下

京 都はサツタタの
都とぎれば
奈 糸はのミシツのなをである

又 旅に出たく
相成り候。

長 崎は好い所ですね
大に感心しました

堺 仙 橋は
流石にいい

芥川龍之介 生誕130年

旅の記憶

明日は雨のふらない限り出発する予定である

2022年 4月23日(土) — 6月19日(日)

山梨県立文学館
Yamanashi Prefectural Museum of Literature





② 特設展「文芸雑誌からZINE（ジン）へー古今同ZINE誌ー」

期 間 令和4年7月16日（土）～8月28日（日） 39日間

趣 旨 小・中学生時代の芥川龍之介は、作品発表の場として、友人と手書きで雑誌を作り、回覧して楽しんでいた。また、太宰治は、青森中学校時代に同人誌「蜃気楼」を編集・発行し、仲間と一緒に創作などを発表していた。一方、現代では、若年層を中心にテーマや表現方法など自由に構成する冊子「ZINE（ジン）」の制作が広がっている。本展では、近代文学を彩ってきた文芸雑誌や、進化を続ける「ZINE」の現状を第1部、第2部に分けて紹介した。今回が当館初展示となる太宰治の「蜃気楼」全12冊を一挙公開。全12冊の所蔵は当館のみ。

展 示 資 料 一 覧

第1部 ZINEって何？ ZINEを楽しもう

駿台甲府高等学校美術デザイン科

「駿台甲府高校美術デザイン科制作ZINE」2022（令和4）年6月

大村梓「地球のどこかで」2021（令和3）年

大村梓・『トート』編集部

「トート」創刊号特集「夏の思い出」2020（令和2）年9月

「トート」銀世界 2021（令和3）年2月

「トート」まばゆい 2021（令和3）年6月

「トート」リズム 2021（令和3）年10月

「トート」謎 2022（令和4）年2月

「トート」ブルー 2022（令和4）年6月

長田結花

「無色」2018（平成30）年8月

「春と夏 2017-2018」2018（平成30）年8月

「一九と一のはなし」2020（令和2）年11月

小幡彩貴

「季節の記録」2016（平成28）年4月

「桜の記録」2015（平成27）年4月

「DAWN」2016（平成28）年11月

「DAWN 2」2022（令和4）年4月

「Each Life」2020（令和2）年6月

「冬から春」

「Records of the seasons」2017（平成29）年10月

吉田朝麻

「LIFE REPORT PROJECT」Vol.2 2019（令和元）年5月

「LIFE REPORT PROJECT」Vol.3 2020（令和2）年10月

「日常茶飯ZINE」Vol.1 2021（令和3）年11月

「すごもり あそび」2020（令和2）年10月

「物欲ZINE」vol.1 2022（令和4）年5月

「kakomi ZINE」2022（令和4）年5月

「日常茶飯ZINE」Vol.0 2020（令和2）年

「ハママツモト zine」Vol.2 2018（平成30）年11月

山の情報局a.k.a.辻本りょうこ（福山市地域おこし協力隊）

- 「山野人」第1号 2019（令和元）年12月
- 「山野人」第2号 2020（令和2）年3月
- 「山野人」第3号 2020（令和2）年8月
- 「山野人」第4号 2021（令和3）年1月
- 「山野人」特別編集号 2021（令和3）年9月
- 「山野人」第5号 2021（令和3）年10月

藤田一樹

- 「イモヅル」Vol.1 2016（平成28）年4月
- 「イモヅル」Vol.2 2016（平成28）年11月
- 「イモヅル」Vol.3 2017（平成29）年10月
- 「イモヅル」Vol.4 2018（平成30）年10月
- 「イモヅル」Vol.5 2019（令和元）年12月
- 「イモヅル」Vol.6 2021（令和3）年2月

逆柱いみり

- 「総天然色怪獣図鑑」
- 「怪獣活版豆本」

飯塚めり

- 「別冊カフェモンスター」Vol.08 2016（平成28）年10月
- 「別冊カフェモンスター」Vol.11 2019（令和元）年5月
- 「オ・レ・グラッセをめぐる。」 2020（令和2）年10月

湖麻美

- 「8.12-9.25」
- 「あさみボンゴレ・ロソ」

木藤富士夫

- 「公園遊具」Vol.6 2018（平成30）年4月
- 「公園遊具」Vol.8 2019（令和元）年6月

竹本佑樹

- 「まちのあと」2021（令和3）年
- 「まちなるき」

凸凹ごっこ

- 「檸檬」
- 「凸凹のおかずで食べるりんごレシピ」2019（令和元）年12月

Daxxxr

- 「君は誰とキスをする？私、それともあの娘」2017（平成29）年12月
- 「タピオカ読本」2018（平成30）年12月

山梨県農政部花き農水産課「やまなし花の名所ガイドブック」

山梨市牧丘地区文化協会短歌部「短歌 まきおか」2020（令和2）年11月

山梨県観光資源課「山梨百名山手帳」2018（平成30）年2月

アニマルパスウェイと野生生物の会「ヤマネのマルくん、南の森へ」

南アルプスユネスコエコパーク山梨県連絡協議会「どうでもいい」

市川裕子「FLOW FLOWER 永遠の流れ 一瞬の花」2016（平成28）年10月

上野あづさ「上野あづさの絵日記2021」2021（令和3）年12月

染町「Little Store」2019（令和元）年8月

奈良都民「奈良都民のおえかき」2022（令和4）年2月

文：ねこざ 絵：スケラッコ「ベトナム中部くいしんぼ旅」2019（令和元）年12月
森田真規「なんとなく、クリティック 1」2013（平成25）年2月
浅田暢夫、飯田華子 他「季刊 黒猫 春」2021（令和3）年
AOKI Hiroyuki「京都」2022（令和4）年1月
声「中銀カプセルタワービルデイズ1」2021（令和3）年4月
李和晋「荻窪風土記」2020（令和2）年
株式会社シーエムバー「NAGOJISAN」Vol.1
モノマチ2022実行委員会「モノマチ2022」2021（令和4）年5月
とさちょうものがたり編集部（土佐町役場）
「とさちょうものがたりZINE」08 2021（令和3）年7月
八画出版部「八画文化会館」Vol.8 2020（令和2）年7月
ゆずえび「あおもり」2019（令和元）年
望月昭秀「縄文ZINE 12」2021（令和3）年春
つぎつぎ編集部「つぎつぎ」2022（令和4）年2月
澤田屋「澤田屋」2021（令和3）年11月
七里岩書房「いたずらずきなむじなとズイトン和尚さん」
たむらのりこ「のりのりとピータンのドキドキ日記」
森口理緒「HATAORI」vol.1 2020（令和3）年8月
BEEK DESIGN「BEEK」03 2014（平成26）年10月
みやしいさお「花の妖精と大男」2022（令和4）年3月
やまねこ&リッツ「インタープリターがゆく」2021（令和3）年11月
渡邊佳苗「WONDER LAND PASSPORT」2021（令和3）年6月
しじましい「カプセルタワー滞在記」2021（令和3）年6月
つれづれ団「仙台をふらふらする情報誌 ノッツォ」02 2020（令和2）年4月
凸凹、コガネ「青い食べ物の本」2018（平成30）年12月
わたなべあゆ「ネオン トーキョー」2019（令和元）年8月
ワダヨシ「ナンプラーマン 魚醬男」2019（令和元）年3月
塵塵「武田百合子について」
CRY IN PUBLIC「CRY IN PUBLIC theZINE#8」2022（令和4）年
とんちきくま「KAMAKURA」
shige「glass-wool」
ユズキカズ「映画館挿絵画集 シカゴ館」2022（令和4）年3月
不慮、fur kyo、佐川ドン「テプラ短歌」2019（令和元）年11月
DOLLY BIRD GIRLS編集部、Sato shiho
「DOLLY BIRD GIRLS ドーリーバードガールズ」2021（令和3）年7月
佐藤友理・中田幸乃「まどをあける vol.1」2020（令和2）年6月

KEITH「地上高 GROUND CLEARANCE」

文：中性子 絵：大村タイシ「Per.mur」

渡邊佳純「W0B0R0 5号」2015（平成27）年5月

豊島区ジャンプ長崎未来のトキワ荘プロジェクト「ジャンプ長崎と長崎獅子舞ZINE」2022（令和4）年3月

MIO「ワン!スポンアタイム」2022（令和4）年5月

aosansyo「純喫茶アパレル」2016（平成28）年11月

スズキトモコ「CITIES」2019（令和元）年

毛柴有喜、satokai「シューミーンドック」2020（令和2）年10月

桜華書林「ものがたりの日々」2015（平成27）年9月

usui mai「No boundary」2022（令和4）年

文学館・美術館職員「GM」Vol.1 2021（令和3）年11月

2021年文学館ワークショップで参加者が作成したZINE

「小鳥しゃしん」2021（令和3）年11月

「This is toto ーファースト写真集ー」2021（令和3）年11月

「INFULUENCED ZINE」2021（令和3）年11月

第2部 芥川龍之介と太宰治の同人誌

芥川龍之介の同人誌

芥川龍之介「冒険小説 不思議」

芥川龍之介「ウエールカーム」

「文事の光」（「日の出界」第二編臨時発行）表紙

芥川龍之助「大海賊」

芥川龍之介「万歳のこへ」

芥川龍之介「魔法島」

芥川龍之介「新コロンプス」

芥川龍之介「絶島之怪事」1906（明治39）年5月7日

「曙光」第4号 1906（明治39）年6月3日

「碧潮」3号 1908（明治41）年2月28日

芥川龍之介「鼻」草稿

芥川龍之介「鼻」ノート

第四次「新思潮」創刊号 1916（大正5）年2月15日

「新思潮」第1年第6号表紙・奥付上段原案

芥川龍之介『羅生門』菊池寛献呈本 1917（大正6）年5月23日 阿蘭陀書房

太宰治の同人誌

「蜃気楼」創刊号 1925（大正14）年11月6日

「蜃気楼」11月12月合併号 1925（大正14）年12月1日

「蜃気楼」1月号 1926（大正15）年1月23日

「蜃気楼」2月号 1926（大正15）年2月8日

「蜃気楼」4月号 1926（大正15）年4月23日

「蜃気楼」5月号 1926（大正15）年5月21日

「蜃気楼」6月号 1926（大正15）年6月5日

「蜃気楼」7月号 1926（大正15）年7月

「蜃気楼」9月号 1926（大正15）年9月25日
「蜃気楼」10月号 一周年記念号 1926（大正15）年11月8日
「蜃気楼」11・12月合併号 1926（大正15）年12月20日
「蜃気楼」1月号 1927（昭和2）年2月15日
「細胞文藝」創刊号 1928（昭和3）年5月1日
「細胞文藝」第1巻3号 1928（昭和3）年7月1日
「海豹」創刊号 1933（昭和8）年3月1日
「鷗」第1輯 1934（昭和9）年4月11日
「鷗」第2輯 1934（昭和9）年7月1日
「青い花」創刊号 1934（昭和9）年12月1日
太宰治『晩年』1936（昭和11）年6月25日 砂子屋書房

文芸雑誌から
ZINEへ
古今同ZINE誌 SOJUN DOZINESSI 特設展

トート

2022
7.16(土)
→ 8.28(日)

1期
ZINEって何？
ZINEを楽しもう

2期
芥川龍之介と
太宰治の同人誌

山梨県立文学館
YAMANASHI PREFECTURAL LIBRARY

1. 主催：山梨県立文学館
2. 協賛：山梨県立中央図書館
3. 協賛：山梨県立中央図書館
4. 協賛：山梨県立中央図書館
5. 協賛：山梨県立中央図書館



